

(様式4)

◆ 佐藤 郡衛

<所属・職名>

国際交流基金日本語国際センター所長、東京学芸大学名誉教授

<略歴>

東京学芸大学教授、同大学理事・副学長、目白大学学長、明治大学国際日本学部特任教授等を歴任。

<これまでの研究活動、外国人児童生徒等教育に関する経験など>

東京学芸大学在職中の1990年から外国人児童生徒の実態把握とその教育について関心を持ち、調査研究を進めてきた。また、文科省のJSLカリキュラムの開発、特別の教育課程の編成、「外国人児童生徒受け入れの手引き」の作成などにも関わってきた。

外国人児童生徒教育に関わる施策、実践について指導・助言が可能。それぞれの地域や学校の実態に応じて、共に課題の解決に向けて考えていきましょう。

<対応可能学校種>

いずれも可

<遠隔での指導助言> ※いずれかの□にチェックを記入してください。

■ 対応可（日程が合えば） 対応不可

<その他（国等の委員歴等）>

主なもの 文科省関係

- 高等学校における日本語指導の在り方に関する検討会議（座長）
- 外国人児童生徒等の教育の充実に関する有識者会議（座長）
- 学校における外国人児童生徒等に対する教育支援に関する有識者会議（座長）
- 日本語指導が必要な児童生徒を対象とした指導の在り方に関する検討会議（座長）
- 学校教育におけるJSLカリキュラム（小学校編・中学校編）の開発に係る協力者会議（座長）

<関連URL>

<講師として担当可能な内容>

別紙「講師として担当可能な内容（モデルプログラム「養成・研修の内容構成」対応）」のA～Nの書く欄に、◎または○を付けてください。

※別紙に○を付けていただいた内容は、一覧表に整理して文部科学省ホームページに掲載いたします。

※ 本様式は文部科学省ホームページに掲載いたします。